

DX推進計画書

メディケア癒やしグループが 目指す姿

DX・AXにより「ひと手間」の時間を創出する

株式会社SENSTYLE

株式会社SandK

プロジェクト担当 高齢者行動科学研究所

2025年6月10日 | Ver.02

01. 経営理念体系

- (1) メディケア癒やしグループの理念
- (2) 中長期的経営計画

02. DXで目指す姿

03. デジタル戦略

- (1) 早期入院によるご利用者の安全確保と財源削減
- (2) 作業効率向上による介護の改革

04. DX推進に向けた基盤整備

- (1) マインドセットの転換
- (2) 人材開発
- (3) 組織・制度
- (4) システムインフラ
- (5) サイバーセキュリティ対策

05. KPI (重要業績評価指標)

<参考資料> これまでに実施したDXと効果

01. 経営理念体系

(1) メディケアグループの理念



✓ 利用者よし

心から安心でき、快適に暮らせる環境を提供。個々の尊厳と安全を最優先とする



✓ 世間よし

地域社会や関係機関と連携し、共に支え合いながら社会的責任を果たす



✓ 職員よし

やりがいを持ち、働きやすく、生活が充実する職場環境を整備



✓ 運営よし

社会の変化に柔軟に対応し持続可能で安定した経営基盤を構築



✓ 未来よし

革新と挑戦を重ね、時代の先を見据えた新たな価値と可能性を創出

01. 経営理念体系

(2) メディケアグループのDX計画



スマホ1つで日々の業務を管理
(カルテ記録、勤怠管理、人事考課)



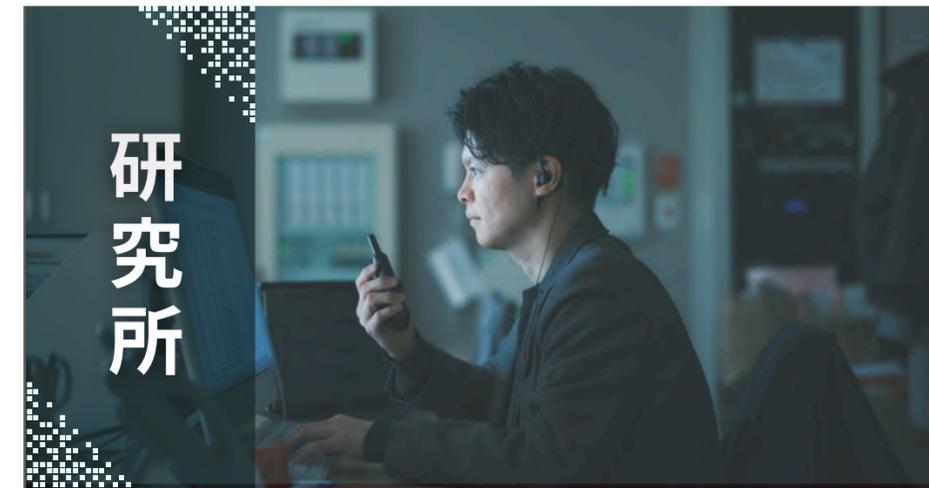
AI見守りセンサーによる
安全確保



スマホで連絡
情報共有



スタッフの入力した情報から
アラートが自動発生 → 安全確認



蓄積されたデータを解析
働き方改革・利用者安全に寄与

DXはご利用者様一人ひとりに対する「ひと手間」を創造する手段

私たちは「関わるすべての人に“ひと手間”を。」という理念のもと、地域に根ざした介護を実践してきました。

2021年に「メディケア癒やし 京町台」を開設して以来、時代の変化に応じたケアを追求し、2025年には「メディケア癒やしDX」として新たな一歩を踏み出しました。

見守り支援システムやICT活用による記録の効率化、業務の可視化など、現場の声をもとに多様なDXを推進。テクノロジーは、単なる効率化の手段ではなく、ご利用者様一人ひとりに向き合う「ひと手間」を生み出す土台と考えています。

これからも人のぬくもりと先進技術の調和により、すべてのステークホルダーとともに、心が通う介護の実現を目指してまいります。

株式会社SENSTYLE／株式会社SandK
代表取締役 国中 優治

2025年6月10日

2025年1月12日、名古屋の“ういんく愛知”で開催された「生活期 医療・介護 イノベーション フォーラム 2025」に、メディケア癒やしグループとして企業展示およびセミナー講演で参加



(HPより一部引用)

「AI搭載見守りカメラによるあらゆる生活動作の客観的評価と介入戦略の開発—介護介入のDX実装に向けたコニカミノルタ社との共同研究—」をテーマに講演しました。AI技術を活用し、利用者の動作や状態をモニタリングして適切な介入を行うことにより、ケアの質を向上させる具体的な取り組みを詳しくご紹介しました。

<今後の展望>

メディケア癒やしグループでは、全国規模のイベントに積極的に参加し、最新技術を活用した取り組みや研究成果を広く発信していく方針です。また、これらの活動を通じて、たくさんの企業様や研究機関との連携をさらに深め、介護分野におけるイノベーションを牽引してまいります。

当社HPより引用

くまもとDX推進コンソーシアム「DXの取組事例」として掲載

今後の展望、DXに取組みたい企業へのメッセージ

今後の展望としては、介護見守りシステムを用いて集めたスタッフの行動データを利用し、当社の介護サービスを海外へ展開することを目指しています。

具体的には、入居者様とのコミュニケーションにおいて、視線の高さや向け方などをスコア化し、データを蓄積したいと考えています。さらに、蓄積したデータに質的な評価基準や管理者の評価基準などを加え、「日本のおもてなし」を取り入れた介護サービスとして海外に展開できればと思っています。

DXに取組みたい企業へのメッセージとしては、DXに取り組む際には、初めから中心の業務や事業が大きく変化するようなDXを進めるのではなく、労務管理といった細かい業務から徐々にデジタル化に取り組む方がよいということです。デジタル技術や新たな業務体制への抵抗感から、DXに取り組むことで従業員の離職につながる可能性もあります。それを防止するためにも、有給申請などの細かい業務から少しずつ取組み、従業員の皆さんが少しずつデジタル技術に慣れる環境を作ることが重要ではないでしょうか。



取材にご協力いただいた代表取締役 国中様

02. DXで目指す姿

ご利用者の状態変化を**早期に検知**するシステムを導入。
今後は測定機器の連携による自動化を目指す。

施設内「早期発見」対象基準

- ① 痰の有無を問わない新規の咳嗽
- ② 体温 : 37.5℃以上
- ③ 呼吸数 : 24回以上
- ④ 脈拍 : 100回以上
- ⑤ 酸素化 : 92%以下 (室内気)
- ⑥ 肺音異常

+ なにかおかしい

「早期入院」
依頼

スムーズな
退院

後方支援病院

- 患者確保
- メディケアへの早期退院
- ベッドコントロール



02. DXで目指す姿

ご利用者の状態変化を**早期に検知**するシステムを導入。
今後は測定機器の連携による自動化を目指す。

施設内「早期発見」対象基準

- ① 痰の有無を問わない新規の咳嗽
- ② 体温 : 37.5℃以上
- ③ 呼吸数 : 24回以上
- ④ 脈拍 : 100回以上
- ⑤ 酸素化 : 92%以下 (室内気)
- ⑥ 肺音異常

+ なにかおかしい

エビデンスの集積

科学的知見によるブラッシュアップ

- 食事量の推移
- AIによる判断
- 遺伝子検査
- IT機器を用いた聴診

研究助成金獲得→研究・共同開発

※研究費：AMED、科研費、学会助成金などを獲得

02. DXで目指す姿

AIを活用し測定値や記録から行動タスクを自動生成

現場



- 咳嗽有
- 体温：37.5°C以上
- 呼吸数：24回以上
- 脈拍：100回以上
- 酸素化：92%以下
- 肺音異常

記録

- ・ 医師の記録
- ・ 薬剤情報
- ・ 状態変化
- ・ 検査情報
- ・ 備考

行動タスクの自動生成

- 脈拍・SpO2の再測定
- 尿量の確認
- 上記を2~3時間おきに実施
- 食事量の確認
- 医師の診察予定（2日以内）

管理者



生成された行動タスクが
現場で遂行されているか確認



03. デジタル戦略

(1) 早期入院によるご利用者の安全確保と財源削減



早期搬送によりご利用者、ご家族の安全と安心を守る



- ▶ 状態変化を早期に検知するシステムによりご利用者の安全を確保
- ▶ 自社で搬送車両を準備し、予測的に医療機関へ予定入院連携する
- ▶ 搬送車両には救急救命士を雇用し日常的な施設内バイタルチェックや搬送時の専門的情報共有を可能にする
- ▶ 年間約2600万円の救急車出動費を、1300万円に圧縮することを目標



電子カルテシステム

API連携



各種バイタルサイン測定機器

測定値の自動入力化

研究助成金によるプラットフォームの開発・機器のAPI連携により、測定機器にて計測された数値を電子カルテシステムへ自動反映させることで、スタッフの業務効率改善・ご利用者へのケア時間の充足を測る



介護の3K



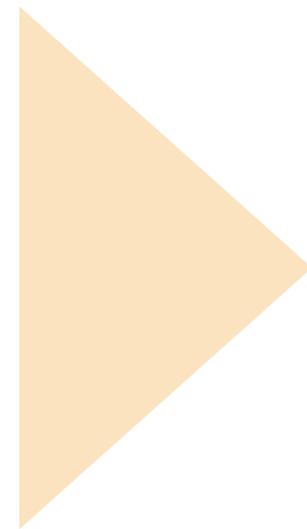
「汚い」



「きつい」



「危険」



メディアケアから生まれる介護の3S



「Smart」

記録・見守り・情報共有の効率化で
働き方をスマートに



「Safe」

転倒検知、リスク予測などDXを通じて
安全性を向上



「Satisfying」

ご利用者もご家族も職員も満足できる
環境の創造

AI研修

外部講師によるChatGPTやGeminiなどのAIエンジンによるシステム構築、業務効率化のための研修



IT研修

IT・コンプライアンス部よりデジタルやIT技術に関する基礎知識・リテラシーについて講義



新人研修



(HPより一部引用)
私たちの使命は、24時間365日看護師が常駐するという医療的な安心を提供することにあります。さらに、国内で唯一、介護施設内に文部科学省認定研究所を設置し、最新の見守りシステム（HitomeQ）を導入することで、ご利用者様の安全性とプライバシーの両立を実現しています。

当社HPより引用

決議

メディケアグループ：取締役会議

協議

メディケアグループ：部長会議

【株式会社SENSTYLE】

高齢者行動科学研究所

- ・利用者データ管理・開発
- ・研究・助成金獲得

IT・コンプライアンス

- ・システムの保守、管理
- ・セキュリティ対策

経理・労務

- ・勤怠・給与
- ・資産管理

人事

- ・採用
- ・研修企画

【各業者・研究機関】

- ・システム構築支援
- ・共同研究、研究支援

【メディケア癒やし各施設】

- ・業務効率化
- ・要望の共有

AI見守りセンサー

HitomeQ

電子カルテシステム

SmaCare
スマケア

介護請求システム

カイポケ

データ管理

Google
Workspace

外部との連絡

LINE WORKS

Chatwork

勤怠管理・稟議

ジョブカン

AI見守りシステムを導入

＼ 密室の緊急事態にも迅速に対応 ／

行動分析

危険・事故通知

ケア品質向上

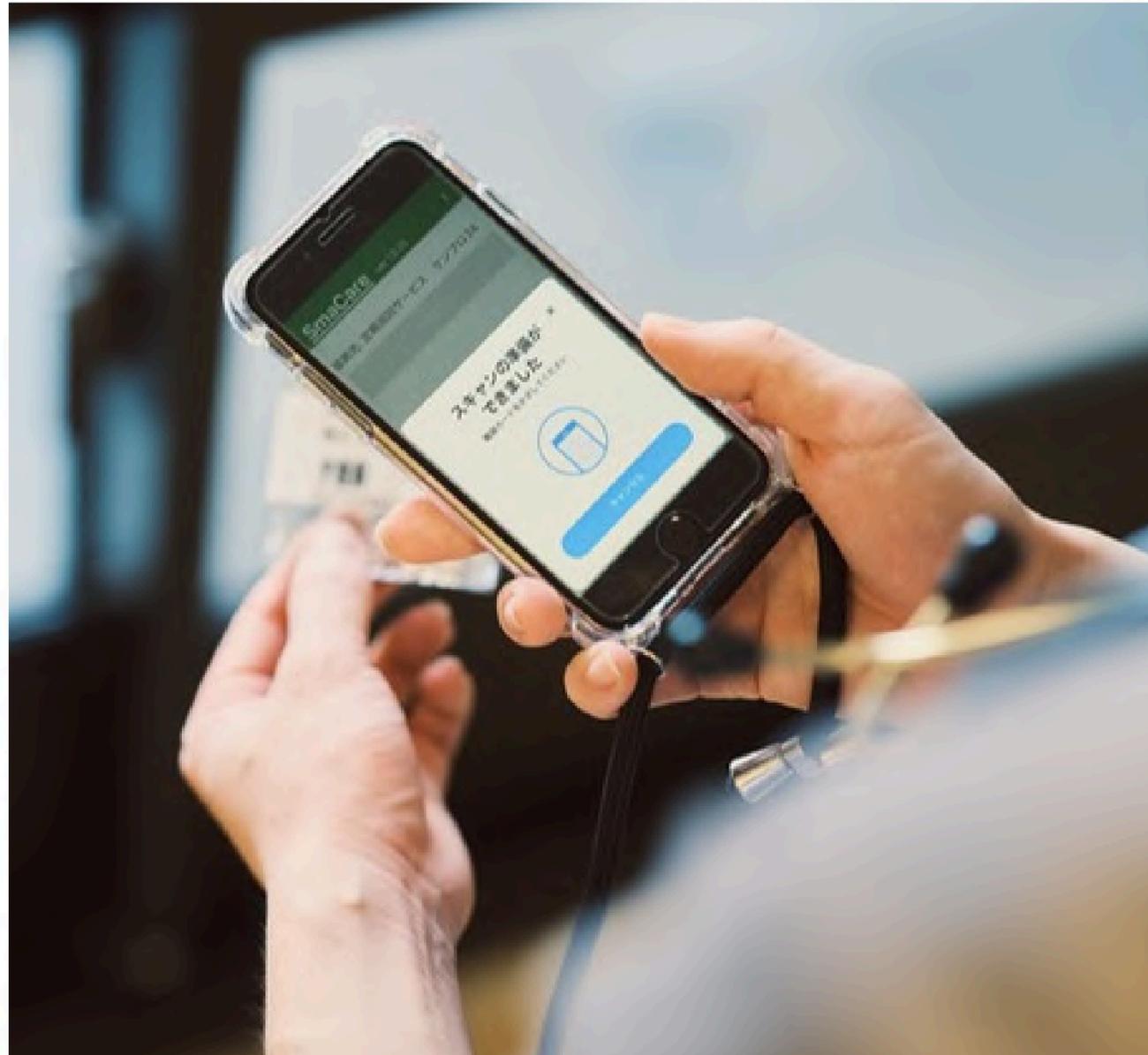


安心・安全のためのDX化

各居室の天井にAIセンサー(コニカミノルタ社のHitomeQ)を設置。起床や離床・転倒などを検知し、転倒時は即座にすべての職員が携帯するスマートフォンに通知され、スタッフがすぐ駆けつけられる体制となっております。最新のセンシング技術を活用することで、居室内での緊急事態なども素早く検知できるほか、各入居者の睡眠状態も把握しております。

スマホでの業務管理

当社HPより引用



デジタルで日々の業務を管理

- カルテ記録ソフト
- 人事考課（評価ポイント）
- タブレットによる書類入力
- ナースコールがスマホに連動
- アプリで気軽に休暇申請
- 有給休暇等の残数確認
- 出退勤時間の確認
- シフト確認
- 残業申請
- 年末調整申請
- 給与明細の確認

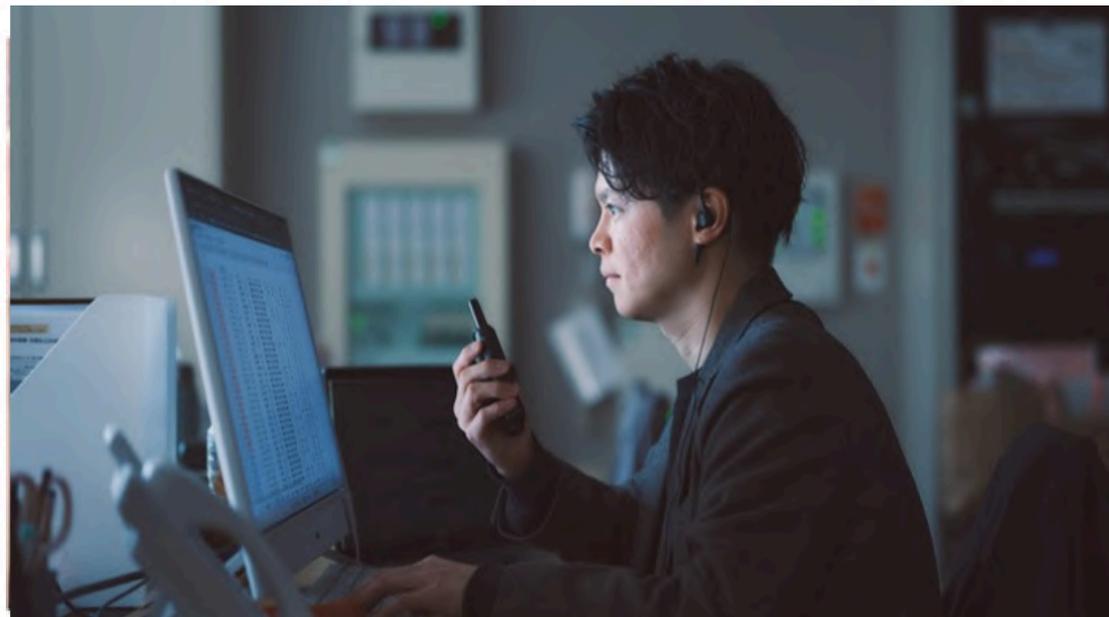
セキュリティシステムとトランシーバー

当社HPより引用



ご利用者を護るセキュリティ

警備カメラや入退室のセキュリティ体制を整えており、玄関はもちろんのことフロア・エレベーターと全出入口に設置しております。また警備会社とも契約しており夜間も必ずスタッフが巡回しております。



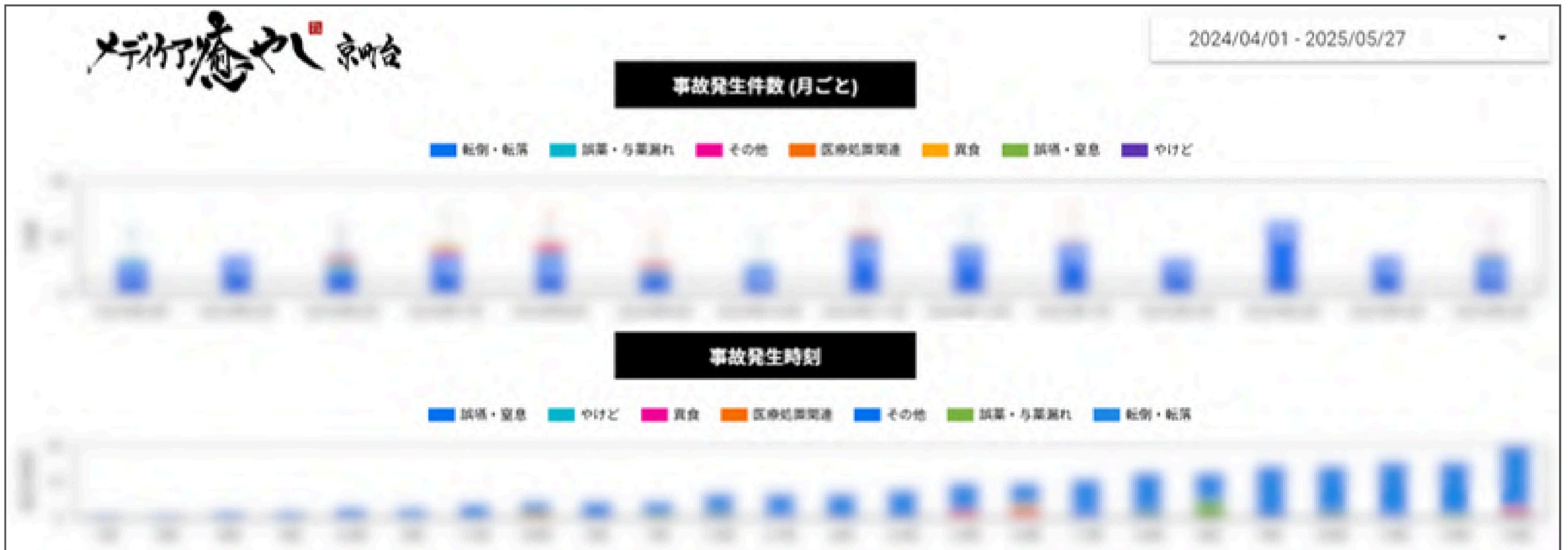
無線トランシーバーで連携

スタッフ全員インカムをつけているため、離れていてもスムーズに連絡がとれる環境となります。常に細かい情報共有を行い、リスク防止に努めています。

- ▶ Looker Studioによる財務管理
- ▶ 行動の変容や新しい価値の創造を客観的に促す

	及(本社)	及(小宮)	有田	御島崎	及(長夜)	花園
1						
2						
3						
4						
5						

- ▶ Looker Studioによる事故管理
- ▶ 自施設の状況を客観的に把握し、ご利用者の安全確保と行動変容に繋げる



業務用PC・スマホの支給



Google Workspaceでのデータ管理



サテライトオフィス・セキュリティーブラウザ for Google Workspace



05. KPI (重要業績評価指標)

① 安全性に関するKPI

転倒発生率：3%未満

ナースコール報知から訪室までの時間：2分以内

② 業務効率に関するKPI

記録作業時間の削減率：-5%（前年比）

紙使用量の削減：-5%（前年比）

③ ケアの質に関するKPI

イベント時の離床時間：通常時の2倍以上

イベント時の経口摂取率：90%以上

ご家族・利用者満足度：95%以上



- **デバイス導入台数：1574台**
(HitomeQ 643台、スマホ362台、PC156台、電子キー127台 etc.)
- **ソフトウェア導入数：19種**
(SmaCare、ジョブカン、Appshet、各種Googleサービス、AIツール etc.)

DX・AXにより
「ひと手間」の時間を創出する

大行癒やしDX